

S-1

条件文の時制とモダリティの意味論—方言条件形式「ギー」をめぐる—

有田 節子

立命館大学大学院言語教育情報研究科

sarita@fc.ritsumeai.ac.jp

1 研究のきっかけ

出会い

日本語学会 2008 年春季大会で日本語の条件文をテーマにしたシンポジウムにパネリストの 1 人として招かれた際、同じくパネリストの三井はるみ氏（国立国語研究所）による方言の条件文に関する発表で '-gi:' という方言条件形式を知る。

特徴的な分布と形態

'-gi:' は佐賀県を中心に九州の一部地域にのみ分布する。

表 1

地域		九州南西部	中国・ 四国南西部・ 九州北東部	近畿・ 四国北東 部	関東・中部	東南北部	東北北部
調査文	167図	フレバ	フリヤー		フレバ・フリヤー	フレバ	フレバ
	降れば	タラ		フッタラ			
		ト				フルト	
		ナラ	フルナラ (熊本)				
	他		フッギー (佐賀)				

日高(2014)から一部抜粋（国立国語研究所編『方言文法地図』GAJ の 167 図「あした雨が降れば船は出ないだろう」下線部の地域毎の表現を整理したもの。）

表 1 のように、他地域には標準語の基本的な条件形式である '-to', '-(e)ba', '-tara(ba)', '-nara(ba)' と同形態或いはそれに関連づけられる形態が分布するが、-gi: はそれらとは結びつけられない。

時制の対立がある・・・2種類の「完全時制節条件文」

標準日本語の時制の対立を '-(r)u' と '-ta'（動詞）、'-i' と '-kaQta'（形容詞）、'-0' と '-daQta'（形容動詞・名詞述語）とすると、標準語の基本的な条件形式では、-nara のみが時制の対立のある節（「完全時制節」（有田 2007））に後接する。

佐賀方言の -gi: にも、'kak-u-gi:' と 'kai-ta-gi:', 'yasu-ka-gi:' と 'yasu-kaQta-gi:', 'ame-0-gi:'¹ と 'ame-d3aQta-gi:' のように、時制の対立がある。佐賀には標準語の -nara と同源の '-nai(ba)' という形

¹ 藤田（2003:11-3）によると、動詞の活用の種類として五段・上一段・下二段・カ変・サ変の 5 種類がある。下二段活用は標準語の下二段活用動詞に対応する。（標準語の「受ける」は「ウクッ」）また、動詞語尾の『-ル』が促音化する。佐賀東部地域でとりわけ著しいという。スツ（「する」）、トゥ（「とる」）、ゴザツ（「ござる」）などである。また、藤田(2003:14)によれば、形容詞の終止形・連体形がすべて「カ語尾」（赤力・嬉力 など）をとる。形容動詞もその終止形がカ語尾をとる。（立派力 など）。なお、調査の過程で、gi: が名詞述語に後接した 'ame-gi:'（「アメギー」）の容認には揺れがあり、gi: の代わりに '-giNta' を用いた 'ame-giNta'（「アメギンタ」）のほうが安定することが観察された。

式があり、これも'*kak-u-nai(ba)*' (「カクナイ (バ)」)、'*kai-ta-nai(ba)*' (「カイトナイ (バ)」) のように両時制形態素に後接する。つまり、佐賀方言には 2 種類の完全時制節条件文 があると言える。

自然言語の条件文研究の背景

条件文の言語学的研究においては、前件命題の成立について中立的な立場で述べる Indicative Conditionals((1))と否定的な立場で（仮定性が高いあるいは反事実的として）述べる Subjunctive Conditionals((2))に2分類され、後者が文法的にさまざまな形で（接続法、時制後退、など）マークされることが指摘されてきた。

(1). If Oswald doesn't kill Kennedy, someone else will.

(2). If Oswald had not killed Kennedy, someone else would have.

ところが、Indicative Conditionals にも2通りあることが注目されるようになった(たとえば、Funk 1985, Kaufmann 2005, Dancygier 1998 等)。それは(1)と(3)を区別するということを意味する。

(3). If Oswald didn't kill Kennedy, someone else did.

(1)は、前件が成立するかどうかが発話の時点では誰も知りえないから話し手も知らないという場合で、(3)は、前件が成立しているかどうかは発話時点で既に決まっているのだが、それを話し手が発話の時点で知らない場合と捉えられる。

Kaufmann (2005)にならって(1)のような条件文を「予測的条件文(Predictive Conditionals)」、(3)のような条件文を「認識的条件文(Epistemic Conditionals)」と呼ぶ。

完全時制節と認識的条件文・・・日本語標準語の場合

有田 (2007)では、完全時制節をとる-nara が認識的条件を表すことを示し、日本語条件文に認識的条件文というサブカテゴリーを認める必要性を論じた。ただし-nara は認識的条件文にその分布が偏る傾向にあるのだが、その一方で、-ta-nara が予測的条件文にも現れ、必ずしもはっきりしない。

(4). オズワルドがケネディを {殺さなければ／殺さなかったら／殺さなかったなら}、だれか他の人間がやるだろう。((1)の日本語訳、予測的条件文)

(5). オズワルドがケネディを殺さなかった (の) なら、だれか他の人間がやったんだ。((3)、認識的条件文²⁾)

唯一はっきりしているのは、-nara が準体形式('n(o))に後接する場合には、予測的条件文にはならず、認識的条件文になるという点である。

(6). #オズワルドがケネディを殺さなかったのなら、だれか他の人間がやるだろう。(予測的条件文としては不適格。)

認識的条件文は「のなら」の「一用法」に過ぎないと言われても仕方がない状況で-gi:に出会った。

²大橋(1999)は、このタイプの条件文を「結論を表す条件文」とし、日英語を比較し、特に主節のモダリティの現れ方(「のだ」や'must', 'it means that'など)について詳しく論じている。

2 現象の検証に用いたデータセット

完全時制節を導く2種類の条件形式がある佐賀方言では、予測的条件文と認識的条件文はどのように表現されているのか。³

調査は、2009年1月、2009年11月、および2010年8月に実施した。共通語の例文を提示して、問題となる条件表現の部分が「基本形+ギー/タ形+ギー/基本形+ナイ(バ)/タ形+ナイ(バ)」のそれぞれで適格か否か、より自然な他の表現がないか、などについて臨地面接質問法により行った。調査協力者は、調査時において、31歳男性(A)、77歳男性(B)、20歳女性(C)、20歳女性(D)の計4名で、このうち、AとCは18歳まで佐賀市に居住し、それ以後調査時まで福岡市に在住、Bは佐賀県小城市、Dは佐賀県神埼郡吉野ヶ里町に生まれ、それぞれ調査時も同地に在住である。その調査結果の分析は有田・江口(2010)で示している。なお、Aには2014年にも追加調査を実施している。

予測的条件文

(7). アシタ アメン {フッギー/＃フンナイバ} エンソクン チューシニ ナッヤロー
明日 雨が 降ったら 遠足が 中止に なるだろう

(8). (今度福岡大学に出張するんだってね。)

モシ サノセンセーニ {アウギー/＃オーナイバ/%オータナイバ/%オータトーキヤー⁴}
もし 佐野先生に 会ったら
ヨロシュー ツタエトッテ
よろしく 伝えて

→予測的条件文は基本形+ギーが最優先に選択される。基本形+ナイ(バ)(フンナイバ、オーナイバ)は「確率が高い・予定がある」(→認識的条件文)という含みがある。(9)のように「予定がある」という解釈を持たない場合、ナイ(バ)は不自然⁵になる。タ形は現れない。

(9). アボガドサー オリーブオイルバ ガイカケテ タブッギー ガバ オイシカヨ
アボガトに オリーブオイルを たっぷりかけて 食べると すごく おいしいのよ

認識的条件文

甲タイプ・・・発話時点で前件が成立しているかどうか定まっている場合

(10). カズオガ ハンコウジコクニ サツジンゲンバニ オランヤッタ(ト)ナイ
一男が 犯行時刻に 殺人現場に いなかった(の) なら

³ 以後、標準日本語の例と区別するために、方言をカタカナ表記とする。その際、便宜的に長音を「-」で表す。

⁴ 老年層のインフォーマントは、特に後件が行為要求の場合に、ギーと共に、'-to:kja:'(「トーキヤー」)も使用すると言っている。タ形+トーキヤーの形をとるので、この場合のタ形はギーやナイ(バ)とは違って絶対時制とは言えない。若年層は、タ形+ナイバも容認するがその解釈には揺れがある。

⁵ 老年層のインフォーマントは、「タブンナイバー」を認めるかどうかで判断が揺れる。

ハンニンワ ホカニ オッハズ

犯人は 他に いるはずだ

乙タイプ・・・発話時点で前件が成立することが見込まれる場合

- (11). ドーセ ハジバ カク(ト) ナイ モット オオカ ヒトン マエデ ジブンノ
どうせ 恥を かく(の) なら もっと たくさんの 人の 前で 自分の
カンガエバ ユータホーガヨカ。
考えを 言ったほうがいい

- (12). カイガイキンムニ ナンナイ/ナットナイバー エイゴバ モット
海外勤務に なるなら/なるのならば 英語を もっと
ベンキョーシトカンバランヤッタ
勉強しておかなければならなかった

丙タイプ・・・前件が先行の発話に依存する場合

- (13). A「実は、あのあとすぐに財布がみつかったの。」
B「ナンソイ。ソガン カンタンニ ミツカッタ(ト) ナイ アチコチ サガストヤナカッタ」
何それ。そんなに 簡単に 見つかった(の) なら あちこち さがすんじゃないかった
- (14). A「あら、雨がふっているわ」
B「アメン フイヨンナイ ウンドーカイ チューシニ ナッカモシレンネー」
雨が 降っているなら 運動会 中止に なるかもしれないね。

認識的条件文はタイプを問わずナイ(バ)が選択される。前件に事象時が基準時より前の事態が表される場合、タ形になる。それ以外の場合は基本形となる。ギーは現れにくい。⁶準体形式('to')がナイ(バ)の前に挿入されることがある。

予測的条件文・・・基本形+ギー

認識的条件文・・・{基本形/タ形} ナイ(バ)

ギーがタ形をとる場合はどうか。方言大辞典の例にもあるように、いわゆる事実的条件文に現れる。

- (15). ナンナシ ツクエノウエバ ミタギー イモートン ニッキン オイテアッタ
何気なく 机の上を 見たら 妹の 日記が 置いてあった

タ形+ギーは、タ形+ナイ(バ)と共に、(動態述語の場合は状態形をとって)反事実的条件文にも現れる。

- (16). ゴジン シンカンセンニ マニオートッタ {ギー/ナイ}
5時の 新幹線に 間に合っていれば
イマゴロ ミンナデ カンパイシヨットコヤネ
今頃 ミンナデ 乾杯しているところだね。

⁶ ギーの使用域が広いとされる佐賀県西部の武雄市での調査(三井 2011)では、「ギーニャー」が現れている。

まとめると、ギーは、夕形に後接する場合には事実的条件文と反事実的条件文に現れる。ナイ（バ）は、夕形に続く場合、認識的条件文と反事実的条件文に現れる。

3 言語研究における位置づけ

既定性からみた佐賀東部方言の条件表現

有田（2007）では、条件文を前件の既定性（Settledness）と話し手の認識によって分類することを提案した。既定性とは「発話時において真か偽かどちらかに決まる」という意味的性質である。予測的条件文の前件は[-既定性]で、認識的条件文、事実的条件文、反事実的条件文はいずれもその前件が[+既定性]として特徴づけられる。[+既定性]である前件命題は、さらに、話し手がその真偽を知っているかどうかによって分類できる。定まっている真偽の値を知っていることを主観的既定性と呼ぶと、認識的条件文は[+既定性][-主観的既定性]ということになる。

表 2

	総称的条件文	予測的条件文	認識的条件文	反事実的条件文	事実的条件文
既定性		-	+	+	+
主観的既定性			-	+	+
基本形+ギー	✓	✓			
夕形+ギー				✓	✓
基本形+ナイ（バ）		（✓）	✓		
夕形+ナイ（バ）			✓	✓	

調査した佐賀東部方言では、認識的条件文と予測的条件文が、2種類の完全時制節条件節によって表し分けられている。[+既定性][-主観的既定性]である認識的条件文は、ノナラの一用法に過ぎないのでなく、条件文の下位カテゴリーとして位置づけられるべきことがこの方言を通して示されたと言える。

誘導推論とギーの分布

標準語のバでしばしば指摘されるのが「後件が行為要求の場合」に制限があるという「後件のモダリティ制約」である。上記(8)を見る限り、ギーにモダリティの制約はなさそうだが、同時にナイ（バ）やトーキヤーなども容認され、ギーにのみ「どちらかわからない」というニュアンスがあるという。

インフォーマントAへの追加調査で、予測的条件文にギーが出現しにくい場合が観察された。

(17). *メシバ タブッギー ハヨ ハバ ミガカンバ

ご飯を 食べたら はやく 歯を 磨きなさい

(18). ?オトナニ ナッギー パイロットニ ナリタカ

オトナニ なったら パイロットに になりたい

(19). *エキニ ツクギー デンワシテ

駅に 着いたら 電話して

(8) と(17)~(19)は、前件に他の選択肢が想定されているかどうかという点で違いがある。(8)は、「佐野先生に会う場合」と同時に「佐野先生に会わない場合」も想定される。一方、(17)は、ご飯を食べ終わった場合のみが想定されるのが通常の解釈で、食べ終わらなかった場合は考慮されていない。(18)についても、大人にならないという状況はそもそも想定できない。さらに(19)が発されるのは、いつか駅に着くことがわかっているのが通常の状況で、駅に着かない場合は想定外である。

自然言語の条件文'PならばQ'にしばしば付随するとされる'Pでない場合はQでない'という解釈は、「誘導推論」(Geis & Zwicky 1971)と呼ばれ、条件文の意味(真理関数的意味)ではなく会話の含意(坂原1985/2007:110-111)とされている。

三井(2011)の武雄市での調査では(17)にもギーの使用が確認されている。有田・江口(2013)では上甕島、上天草のようにギー及び相当形式の使用が佐賀よりも狭い地域では、後件のモダリティに関係なく誘導推論が強く喚起されるような場合に使用が限定されることが示されている。

ギー条件文が誘導推論を喚起しやすいのは、ギーが「限定」⁷を意味する「キリ」を語源とするとされる(藤田2003)ことと無縁ではなく、前件が成立した場合に後件が成立する($p \rightarrow q$)というよりも、後件の成立がその状況に限られる($p \approx q$)ことを表すのを本務とすると言えるのではないか。地域によるギーの分布の差は、ギーの限定を表すという意味機能の希薄化が進むにつれ、条件を表す基本的な形式としての地位が確立していった、言わば「文法化」の過程として捉えることができる。

引用文献

有田節子(2007)『日本語条件文と時制節性』くろしお出版

有田節子・江口正(2010)「佐賀方言の条件節における時制の機能について」2010年日本語学会秋季大会

有田節子・江口正(2013)「上天草方言および甕島方言における条件表現について」『筑紫日本語学研究2013』筑紫日本語学研究会
Dancygier, Barbara 1998. *Conditionals and Prediction*. Cambridge: Cambridge University Press.

藤田勝良(2003)『日本のことばシリーズ41 佐賀県のことば』明治書院

Funk, W.-P. 1985. On a semantic typology of conditional sentences. *Folia Linguistica* 19 (3/4): 364-414.

Geis, M. L. and A. M. Zwicky. 1971. On invited inferences. *Linguistic Inquiry* 2: 561-66.

日高水穂(2013)「認識的条件文の地理的変異」日本語文法学会第14回大会パネルセッション 早稲田大学

Kaufmann, Stefan. 2005. Conditional truth and future reference. *Journal of Semantics* 22:231-280.

Kratzer, Angelika. 1986. Conditionals. *Chicago Linguistics Society*, 22(2): 1-15.

三井はるみ(2011)「九州西北部方言の順接仮定条件形式『ギー』の用法と地理的分布」『國學院雑誌』第112巻第12号:26-39.

大橋 浩(1999)「日英語の結論を表す条件文について」稲田俊明他編『言語研究の潮流』開拓社 67-81.

坂原茂(1985/2007)『日常言語の推論』東京大学出版会

付記：本研究はJSPS科研費15K02540の助成を受けている。

⁷ 条件文の代表的な意味論的研究の一つ Kratzer (1986)では条件節(if)を「オペレーターのドメインを制限する」ものと捉えていることを考慮すると、ギーが本来持つ限定という意味により条件節としての機能を果たすに至ったと考えられる。